

政策ニアツタガ、結局何事モ出來得ズ、地主的農業政策ノ破綻ヲ完全ニ曝露シタ。御自慢ノ米穀統制法ハ何等農民ヲウルホハサツ、極一部ノ裕福ナ地主ト米穀商ニ暴利ヲ與ヘタニスギズ。今日デハ米ノ消費者側エアル都會生活者カラサエ非難サレハジメタ。

原蠶種子、管理法、輸出生糸出荷制限法、乾繭共同保管上何レモ今日ノ養蠶農民ヲ救フ何者デモナイ。

ソコデ一部ノ役人ノ中エハ、自作農本位ノ産業組合運動ヲ中心トシタ自力更生運動ヲ考ヘ、カタレテ農業統制ヲ夢見テキル。

政府不信ノ農民ノ聲ハ益々高イ。

一、カク農村ノ窮乏ノ進行ハ、コ、二三年來ノ一切ノ爭議ナド、レメ殺スヤウナ反動ノ空氣ノ中デサヘ、農民ヲ、ヨシ自然發生的ダツタニセヨ、第一ニ小作爭議ニ、更ニ政治的ナ活動ヘトツキ動カス。

官廳統計サヘモガ寄生的地主ニ對スル小作料ノ鬭争時ニ土地鬭争ハ、カタテ未曾有ニ激増シ尖鋭化シタ事ヲ物語ツテキル。

實ニ農民運動ハ、コノ小作料ノ問題ト土地ノ問題ヲ力點トシテ發展シテ行ツテ居ル。

・土木工專打切反對、低利資金利子支拂延期、村自救問題、特ニ穀物検査制度ガ苛酷サヲ増スニ從ツテ、コレニ對スル反對ノ鬭争等ノ村落活動ガ激烈エナツタ。

一、裁判所、小作官ハソコデ調停活動ヲ強化シ、官意ハ益々彈壓ヲ無遠慮ニヤツテ來ル。立禁、強制執行、競賣ノ類發ト、コレニ裁判所官意ガ暴力圖ト一諾ニ介在シテ、アルガコノ横暴ニ對スル部分的反抗ト、ヤ、トモスレバコレエオビエテ調停エタヨロウトスル好シクナイ傾向トニツアル。

一、フアツシヨの農民運動ノ一時擡頭シタガ今日デハブルハナイ、タマ在郷軍人ヲ中心トスルモノガコレト結ビツキ産業組合、實